

バランスのとれた人間に

村上市立荒川中学校 3年 酒井友美

(中国語で) みなさん、こんにちは。今日は私たちのためにお集まりいただき、ありがとうございます。

(ここからは日本語で) 私は、中国から転校してきました。転校してきて驚いたことがあります。それは中国と日本とで、中学校がまるで違うからです。

何が大きく違っていると思いますか？

それは、部活動があるかないかです。

中国には部活動がありません。いい大学に入らないと、将来いい仕事に就くことができないと考えている中国には、部活動がないのです。

それだけではありません。定期テストの点数が悪かった場合、もともと授業数が少ない保健体育の授業がなくなるということもよくありました。

中国に部活動がないのは、他に理由があるのかもしれませんが。

その一つは、勉強中心の中国では、部活動を指導できる先生が少ないという理由です。

指導できる先生がいないと、生徒の意識が高くなければ、「遊び」のようなものになってしまう、時間の無駄になります。

私が日本と中国の中学校を体験した結果、部活のある日本の中学校は、中国の中学校よりも魅力があると思いました。

なぜなら、部活動がある方が「バランス」がとれると思うからです。

頭だけでなく、体も使わないとスムーズに動かなくなります。また、体を鍛えることで心も強くなり、集中力も向上するのではないのでしょうか。

それだけではありません。チームや集団で部活動をすれば、チームワークとは何か、集団の中で自分はどう動けばよいかを学ぶことができます。とても大切なことだと思います。

私は今、バドミントン部に所属しています。

先生、先輩、同級生、後輩、支えてくれる保護者、たくさんの人に囲まれ、よい刺激を受けながら毎日楽しく過ごしています。とても幸せな環境で自分を伸ばせていると思います。

勉強と部活動は、竹馬のようなものだと思います。片方がしっかり地面に立っているから、前へと新たな一歩が踏み出せるのです。

勉強だけでは歩けません。勉強という一本でしっかり立って、部活動というもう一歩を踏み出す。次は部活動で得たものをもとに、勉強も頑張る…。そうやって確実に前進していきたいと思います。

この恵まれた環境を当たり前だと考えず、感謝の気持ちをもって、精一杯、一日一日頑張っていこうと思います。